

資料集

KS050に関する委員会の資料を集めたものです

50周年記念事業委員会 第1回会議議事録

日 時 : 平成22年9月11日(土) 17時～18時

場 所 : 腰越行政センター1階ロビー

出席者 : 大内達郎、片山真知子、川西清美、菅井直介、高橋弘子
津金勝技、府川創作、水上清、油谷伸一
欠席 2名 鈴木達廣、長谷川真優

配布資料:「KS050 鎌響50年」(菅井)、「鎌響創立50周年記念コンセプト」(水上)

<内容>

1. 初めに菅井委員長より委員会発足の趣旨を説明

・役員会承認により50周年事業の委員会が組織され、委員長に菅井さんを推薦。

・委員会は当初10名程度で組織し、必要に応じて増員も考える。

・山本団長から委員会への要望事項として、

①50周年演奏会の曲目を含む企画を依頼する。(50周年については、選曲委員会ではなく、本委員会が起案することで役員会は選曲委員会に通知)

②昔のことを回想するだけでなく、これからの鎌響のことも企画に加えて欲しい。

③これから委員の方達から様々な企画を出していただき、具体化にあたっては、役員会とも連携して、やっていっていただきたい。

2. 第1回委員会のためのたたき台として準備した資料を配布。

(1)菅井委員長が準備した資料から幾つかを説明。(資料1参照)

・団史の発行:年表、主要活動の記述、団員・旧団員・過去の共演者等からの寄稿等。

予算状況によっては、書籍化せず、CDなどへの記録。

・記念演奏会:曲目の一部に鎌響が最初に演奏した曲から選ぶ。

鎌倉に関連した作曲家の作品を演奏。(矢代氏のP協奏曲や交響曲)

マーラー 交響曲第2番「復活」などの大曲など。

秋の記念演奏会後の祝賀会実施。 など

：鎌倉をテーマにした曲を作曲家に依頼し、演奏してはどうか。

かつて、母校で100周年記念のとき池辺晋一郎氏に作曲を依頼し、CDにしたことがある。

(2)水上委員が準備した資料から幾つかを説明。(資料2参照)

・2012年を50周年記念の年として、2回の定期演奏会にファミリーコンサートも併せて記念演奏会としたい。

・記念事業：(菅井案の重複部分を除き)

50周年シンボルマークを団員全員から募集し制定することで、委員だけの活動ではなく、団員全員を取り込んだ盛り上がりを作りたい。

3. 上記2のたたき台について、ブレインストーミング

<予算関連>

・予算は、記念事業として特別に計上されるのか。

・演奏会に新しい曲を依頼する場合、費用はどのくらい必要なのか。また、依頼側の意図が、どの程度作曲に生かされ、団の皆が納得できる作品に仕上がるかについては疑問だし、技術的にも演奏できるのかも分からないのではないか。費用対効果が未知数だ。作曲する人を知っているが……。等

<団内の盛り上げ>

・シンボルマークは、50周年の為よりも、鎌響のロゴとして募集し、制定した方が良いのではないか。

・鎌響のロゴを制定したものに、『2012－鎌響50周年』などの標語を併用して、これからの演奏会プログラムやチラシなどの掲出し、50周年の周知を図ってはどうか。(50周年終了後は、ロゴのみ使用する。)

<記念演奏会について>

・記念演奏会は、年間通して行うか、第100回定期演奏会だけに集中するか、などは、今後の検討の中で決めて行けば良いのではないか。

・記念コンサートには、団内の名手を独奏者として、演奏曲目を選定してはどうか。

・鎌倉音楽クラブ?などが実施する、若い人たちを対象にしたコンクールの優勝者をソリストに迎えて、協奏曲を演奏するのはどうか。オケと競演できるレベルの優勝者もいる。(チケットもかなり売れる!)

・曲目案の中にマーラーの「復活」が挙がっているが、大曲ならウェルディのレクイエムや、他にも曲はあるので、もう少し議論してからでも良いのではないか。

<これからの鎌響への働きかけ>

・鎌響の今後を見据えて、現在抱える運用上の課題の改善(楽譜や楽器の保管場所や練習場の確保など)を市との連携も進めながら、インフラを整備し、安定した活動を目指す。

4. 今後の予定

第1回の委員会では、委員になられた皆さんから自由な発想や、ご意見を頂きたかったのですが、具体的には2人の意見がペーパーで出されただけで、これを基に意見交換した状況でした。50周年が2012年であり、遅くとも2011年夏までには具体的なまとめと承認が必要と思われます。折角、委員として参画された皆さんからの思いを是非出していただき、それを基により良い記念の事業を団員に提示して行きたいと考えています。

次回の委員会では、持ち寄ったご意見と合わせ、更に具体的な事業のまとめと、タイムスケジュール、担当分けなどに踏み込んで、意見交換を行い、また必要に応じて役員会とも意見交換して行きたいと考えています。

なお、各自のご意見はメールで事前に委員長宛に送付いただき、整理したものを、委員会前に全員にお知らせし、次回委員会では内容を確認したことを前提に話し合いを進めたいと考えております。

お忙しいでしょうが、以下のとおり宜しくご協力ください。

第2回委員会 : 10月3日(日)御殿場 YMCA 東山荘 昼食時
各委員の考え : 提出期限 9月23日(木・秋分の日)
送付先 : 菅井委員長あて

次の2ページは当日配られたものです。委員の由谷さんは転勤のために後に委員を辞退され、その後山本団長の推薦により桐本さんが加われました。

KSO 50 鎌響50年
Golden Jubilee of the Kamakura Symphony Orchestra

鎌倉交響楽団50周年記念事業
委員会

	大内達郎	Base	tatsuro-ouchi@ezweb.ne.jp
	片山真知子	Cl	machiko-k@ric.hi-ho.ne.jp
	川西清美	Vn	tanchan@east.cts.ne.jp
委員長	菅井直介	Vn	aroundcastle@y8.dion.ne.jp
	鈴木達也	Cello	ttsuzuki@soltec.jp.com
	高橋弘子	Fl	takahashipochi@jcom.home.ne.jp
	津金勝技	Trump	mftsugane@themis.ocn.ne.jp
	長谷川真優	Vn	mayuponhoi@hotmail.com
	府川創作	Tromb	fukatoro@hotmail.com
副委員長	水上 清	Vla	klicht@jcom.home.ne.jp
	油谷伸一	Vn	s.yutani@docomo.ne.jp

委員会の性格

これは団長より委嘱された50周年事業の特別委員会である。練習の場で団長より委嘱され、委員は練習の場とネット上で公募された。一部はすでに応募されていた委員の話し合いにより依頼した。活動に当たっては団員の声を常時とりいれて行く。

委員会の提言は団の組織により承認されて実行される。

記念事業について

- 1) 鎌響50年に当たり、団員の協力により演奏技術を向上させ、地域社会あるいは広く世界に貢献するという鎌響の理念を再認識して提言を行って行く。
- 2) 2012年を鎌響50年、KSO50と宣言して、年間を通して事業を行う。準備には直ちに入り、事業を遂行し、KSO50をきっかけにして鎌響の将来の発展を期する。
- 3) このためにはなるべく早くKSO50の計画をたててアピールして行く。
- 4) 具体的な事業としては
 - A) 2012年の各演奏会を少しでもKSO50に関係付けるようにして、演奏会で聴衆にアピールする。ファミリーコンサート、幼稚園協会、二回の定期、第九、に

それぞれ KSO 50 に何か関係づけるようにする。室内楽演奏会も絶好のアップールの場所である。

B) 団史の発行を行うが、具体的には次のような方法をとる。

年表の作成

写真の収集

歴史の記述

これに関連して団員、旧団員、共演者、関係者、その他からエッセーを募る。

可能なら出版した方がよいが、PDF ファイルで CD とする方法もある。40周年のときには予算上出版が不可能となった。

C) 現在の鎌響の抱える最大の問題の一つは練習場と楽器置き場、また楽譜と歴史に関連した資料のアーカイブの確保である。この問題に本格的に取り組んで行く。

40周年のときには市の関係者などが祝賀会で練習場の確保に前向きな発言をされたが進展がなかった。

D) KSO 50 をきっかけにして何か将来につながるような企画を考える。たとえばオペラの上演、鎌倉音楽祭の企画。

E) 資金の調達も必要である。寄付金を募るなどの場合の資金の受け皿をどうするかという問題もある。

F) 祝賀会 秋の定期の終了後が望ましい。鎌倉市、近辺のオケの関係者、旧団員、客演者などにも声をかける。

KSO 50 の演奏会について。一例をあげる

1) ファミリーコンサート

第1回の演奏会の再現 一部でも 未完成など

団員のソロ曲

鎌響で子供のころインスタントコンダクターをやった演奏家

2) 春の定期

鎌倉に縁のある作曲家 矢代秋雄のピアノコンチェルト 鎌倉市歌の作曲家

新曲の作曲依頼 鎌倉在住の作曲家あるいは世界的な作曲家（菅井の母校岐阜県立中津高校の100周年には池辺晋一郎に交響詩を依頼し名古屋交響楽団によるCDも発売した。）

3) 秋の定期 合唱を入れた大曲 復活など。アンコールに鎌倉市歌 最初合唱団そして全員で（アンケートで鎌倉市歌を全員合唱でという声が多い。）

4) 第九 萩との連携 上田市はどうか。

5) 幼稚園協会 幼稚園協会を聞いた団員のソロなど

平成23年5月1日

団員の皆さんに

鎌倉交響楽団創立50周年記念企画について

50周年記念事業委員会

2012年、いよいよ鎌倉交響楽団は創立50周年を迎えます。
昨年9月に11名の委員が集まり、記念事業の企画を検討してまいりました。この間、団員の皆さんからも様々なアイデアやご意見をいただきありがとうございました。

検討の経緯は団内紙「TUTTI」を通じてご報告してきましたが、記念事業の企画がパートリーダー会および役員会での承認を受けましたので、いよいよ具体的な活動を展開するため、本日皆さんに記念事業の全体概要をご報告いたします。

ぜひ皆さんにも参加していただき、一緒に50周年を大きく盛り上げて行きましょう。

1. 記念演奏会企画

1) 記念演奏会

- ・平成24年(2012年) 定期演奏会(春/秋)、ファミリーコンサートの3公演です。

2) 演奏会プログラム等

(1)ファミリーコンサート「鎌響50周年オープニングガラコンサート」

- ・司会・インスタントコンダクターは従来どおりとします。

①曲目

エルガー「威風堂々」第1番

ショパン(第1番) ピアノ協奏曲

ピアノ：榎 和馬 (鎌倉市在住 中学2年生 神奈川音楽コンクール入賞者)

ハチャトゥリアン 組曲「仮面舞踏会」

②指揮者

角氏

③開催日 平成23年3月3日(日)

(2)第99回定期演奏会「鎌響からの名曲プレゼント」

①曲目

ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番

ドボルザーク 交響曲第9番「新世界より」

②指揮者予定

山上氏

③開催日 未定

(3)第100回定期演奏会「鎌響50年、そして次の100年に向けて」

①曲目

ベートーヴェン 「レオノーレ」序曲 第3番

マーラー 交響曲第2番「復活」

②指揮者予定

横島氏

③開催日 未定

2. 演奏会以外の記念イベント企画

1) 団史の編纂

50周年記念記事や団史などは演奏会プログラムに掲載することとしたい。

また、これらの集約したものをCDに保存版として作成したい。

2) 過去の功労者に対する顕彰

鎌響の礎となり、これまでの発展に貢献された方々を顕彰したいと考えています。役員会とも意見調整し、対象者の推薦をして行きたい。

3) ロゴマークの作成

団のロゴを募集します。

50周年の為だけでなく、これからの演奏会プログラムやチラシ、楽譜への表示など、幅広く団の顔として活用して行きたいと考えています。

このため作品は、団員からの応募と、団員総意での選定とします。作成基準や使用目的、選定方法等は後日発表いたします。ふるってご応募ください。

4) 記念パーティー

40周年の時と同様、第100回定期演奏会終了後に芸術館3階集会場で開催することを考えています。

団員のほかに、ご招待する個人や団体等のリストアップ、またパーティーの進め方などは今後慎重に検討してまいります。

5) その他

40周年からの継続として、練習場、大型楽器・楽譜の保管場所の確保や、演奏会場の優先確保など、これからの鎌響にとって安定した活動ができる環境づくりのため、鎌倉市や関係先等に対して依頼・要請して行きたいと考えています。

以上

平成23年5月29日

50周年記念イベント第1弾

鎌倉交響楽団ロゴマーク応募要項

50周年記念事業委員会

創立50周年事業の一環として鎌響の新しいロゴマークを制定することになりました。皆さんからたくさんの応募をお待ちしています。

1. テーマ

50年の歴史と、100周年に向けてさらに飛躍する鎌響をイメージして、自由な発想でロゴマークを作ってください。(イラスト、文字…)

2. 使用目的

チラシ、ポスター、プログラム、チケット等への掲載、楽譜への表示 他

3. 募集期限

平成23年6月19日(日) 練習日まで

4. 応募条件

①資格 団員またはその家族

②点数 一人1点

③作品・作品はA4サイズの白画用紙にお描きください。(用紙自由)

・色は原則単色。(チケット、プログラム、チラシ、ポスターなどに使用)

・作品は、イラスト・デザイン文字ほか何でも結構ですが、チケットなど小さな部分に使用した場合、図案が細かすぎて潰れることのないデザインとする。

・作品は他に発表していないものに限る。

5. 応募方法

別紙「応募用紙」に、創作のイメージや、何を表現しているかなどのコメントを書いて、作品と一緒に50周年記念事業委員にお渡しください。(郵送も可)

*委員：Vn 菅井・川西・長谷川・油谷、Va 水上、Vc 鈴木、Cb 大内、Fl 高橋、Cl 片山
Trp 津金、Trb 府川

6. 選考方法

応募作品はすべてを公開し、募集期間終了後に団員の投票により一番投票数の多いものを入選作として採用します。

7. 発表

平成23年6月25日(土) 総会で投票のうえ発表(欠席者は事前投票)

8. 作品の所有

入選作は鎌倉交響楽団の所有とし、許可の無い使用は出来ません。

鎌倉交響楽団ロゴマーク応募用紙

氏名： _____

演奏楽器名： _____



応募したデザインのイメージや表現したことを、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

鎌響ロゴマーク投票用紙

(2010. 6. 19)

楽器名

氏 名

作品番号

認 定 書

殿

鎌倉交響楽団創立五十周年を迎えるにあたり
ロゴマークを募集したところ、貴殿の作品が最
も高い賛同を得られました。

ここに、当楽団の正式ロゴマークとして認定
することを証します。

平成二十三年六月二十五日

鎌倉交響楽団団長

五十周年記念事業委員会委員長

平成24年4月22日

「鎌響50周年記念合唱団」打合せ会

鎌倉交響楽団が本年50周年を迎えるに当たり、記念演奏会最後となる第100回

定期演奏会(10/27)に永年の夢であったマーラーの交響曲第2番「復活」を演奏いたします。このため、鎌倉合唱連盟理事長児島先生を始めとする方々のご尽力で地元鎌倉の大船混声合唱団、西鎌倉混声コーラスが、そして過去2回相互の演奏会で親しくお付き合いいただいていた戸塚混声合唱団が、それぞれお忙しい年間活動を調整して、私どもと一緒に演奏していただけることになり心から感謝申し上げます。

本日は、お忙しいなか各合唱団責任者の方々にお集まりいただき、本当にありがとうございます。

1. メイン事項「顔合わせ」

各合唱団責任者のご紹介をさせていただきます。

2. 鎌響からのお伝え事項

1) 本番指揮者と合唱関連練習予定(10月:横島先生ご指導)

13日(土/午後)合唱のみ

21日(日/夜)合唱・オケ合同

26日(金/夜)同上(GP)

27日(土)演奏会本番

2) 合唱合同練習について(9月:星野先生ご指導)

・予定がわかれば教えていただく(未定の場合:3合唱団の希望調整)

・鎌響が準備する関連作業および負担金額

練習場所の確保、ピアニストの準備(どなたが準備?)

星野先生への謝礼(10万円)、ピアニスト謝礼(2万円/回)、

場所使用料(実費負担)、合唱団へのお礼(各5万円)

演奏会当日の舞台監督の依頼(戸塚に依頼?:3万円)

・第100回演奏会開始時に鎌倉市歌を合唱団も加わり歌って欲しい。

(鎌倉の合唱団のみ?)

*各合唱団の「復活」練習予定をお聞きしたい。

・西鎌倉は3月から練習開始とのこと

3. 各合唱団からのご質問、今後の打合せの必要性

・今後の個別練習状況や、進め方などの意見交換を定期的集まって打合

せ会

を行うか、またはメール等で意見交換するか？（それに鎌響は加わるか？）

*その他、意見交換

「鎌響50周年記念合唱団」打合せ会（要旨）

1. 日時、場所：平成24年9月9日（日）11時～13時 大船ルノアール

2. 出席者：大船混声合唱団（山野）
（五十音順、敬称略）戸塚混声合唱団（坂田、鈴木）
西鎌倉混声コーラス（古賀）
鎌倉交響楽団（曾根、水上）

3. 当日の検討事項

1) 合同合唱団の練習日程について

①星野 聡 先生指導（ピアノ：矢野 円佳 先生）

9/23（日）深沢公民館3Fホール 18:00～21:00

9/26（水）鎌倉芸術館リハーサル室 18:00～21:00

10/6（土）鎌倉生涯学習センターホール 18:00～21:00

*客席に合唱団、ステージは指揮者とピアニストを配置した練習。

②横島 勝人 先生指導（ピアノ：田中 久美 先生）

10/13（土）鎌倉児童ホーム2Fホール 14:00～17:00

③横島 勝人 先生指導（オーケストラとの合同練習）

オーケストラとの練習前に、合唱団側から発声練習の要望あり。

発声練習の指導については鎌響（曾根）から児島先生に依頼し、ご都合がつかない場合は、坂田先生（戸塚）にお願いすることになりました。

結果：打合せ日以降に、鎌倉側でご指導されている児島百代先生に伺ったところ、発声のご指導をいただけることになりました。

10/21（日）鎌倉芸術館大ホール 18:30～21:30

*最初に合唱団と練習を行い、合唱部分終了後残りの時間でオーケストラのみの練習を行います。

*事前にリハーサル室で発声練習（17:30～18:30：児島百代先生）10/26（金）鎌倉芸術館大ホール 19:00～21:30（合唱団の練習は10/21と同様） *ステージの準備が出来次第、入退場を含む合唱団練習開始

*リハーサル室で発声練習(18:00~19:00:児島 百代 先生)

**合唱団合同練習には、鎌響からも立会いをさせていただきます。

ただ、10/6の練習日(鎌倉生涯学習センター)は鎌響が合宿で立会えないので、合唱団で会場の管理等をお願いいたします。→西鎌倉(古賀氏)

また、戸塚混声合唱団の鈴木氏から、ホール(小栗氏)に事前に説明をしていただけるのこと。(鎌倉生涯学習センター、合唱団が客席を使用するためステージと客席に照明点灯、ピアノの使用<ステージ中央にセット>)

2)演奏会当日(10/27)の予定(集合時刻・場所・工程表 等)

行程表等は、現在検討中のため概要をお話ししました。

9:30 集合(合唱団・オーケストラ)

9:45 リハーサル開始

合唱団入退

鎌倉市歌練習

合唱団退場

10:00 演奏会プログラムに従いプログラム曲のリハーサル

ベートーヴェン 「レオノーレ」序曲 第三番

マーラー 交響曲第2番「復活」

12:30 リハーサル終了(13:45 舞台袖に集合、14:00 開演)

3)「鎌倉市歌」の合唱内容について

実施については正式決定していませんが、実施する場合は前奏と1番、又は1・3番を4部合唱で歌う予定で検討します。

*9/16 鎌響内のパートリーダー会で正式承認され、1・3 番をオーケストラ伴奏で演奏することになりました。また、指揮は横島先生が振って頂く事です承いただきました。

(10/21、10/26 の練習日最初の時間で練習の予定です。)

4)合唱団の並び方

横島先生に確認し、改めてお知らせいたします。

*確認の結果:左からソプラノ・テノール・バス・アルトでお願いしたい、とのことです。

5)衣装

男性:上下黒で黒蝶ネクタイ

女性:上白ブラウス(袖は自由)、下黒ロングスカート

6)楽譜カバー

各自が黒の紙で楽譜カバーをご準備ください。

7) 練習での課題

- ・練習番号49の6小節目(731小節)のアルトは、メゾソプラノより音が高いが、アルトと、メゾソプラノが入れ替わって歌っても良いか。

→横島先生のご意見は、あくまでも「楽譜通りお願いします。」です。

あとは合唱団で調整してください。

- ・ステージ上の各合唱団の並び方

→各合唱団のパート単位に、背の順でまとまって並ぶこととします。

8) 演奏会場(鎌倉芸術館)との打合せ行程表などが固まった段階で鎌響が鎌倉芸術館と打合せいたします。

合唱団側のステージマネージャー(柴田氏)とは、これから具体的な資料が準備出来ましたら、鎌響側のステージマネージャー(箕田氏?)とも顔合わせして、スムーズな運営が出来るよう、意見交換してまいります。

9) その他

①市歌の混声4部楽譜の確認

打合せ当日に楽譜を一部頂戴して内容を確認しましたが、オーケストラ譜と調性は間違いのないことを確認しました。

②「復活」の合唱譜の予備

申し訳ありませんが、最初の打合せ段階で各合唱団にすべてお渡ししたため、追加分は改めてコピーをとる必要があります。→各合唱でコピーをお願いいたします。

③合唱団の参加人数(105名)と氏名

大 船 :女性 17、男性 9 26名(名簿受領)

戸 塚 :女性 31、男性 15 46名(名簿受領)

西鎌倉 :女性 20、男性 13 33名(名簿受領)

④山台の段数

担当者に確認し、必要な着席椅子を各段に準備しますので、9月中旬に人数の最終確認と参加者名の一覧をお願いいたします。

→9/28 現在の合同合唱団人数は105名となっています。

⑤合唱団の紹介文ご依頼

各合唱団のご紹介文をプログラムに載せるため、200字程度で、9月中旬に鎌響(水上)あてにお送りください。

⑥演奏会チケット

枚数に限りがありますので、確実にお越しくださる希望枚数を各合唱団で確認のうえ、22日までにお知らせください。(1枚:800円)

⑦演奏会後の記念パーティーへのご参加

各合唱団代表の方たちにご参加いただけると幸いです。

団員の皆様

2011年12月11日
50周年記念事業委員会
担当 FI 高橋、Vn 長谷川

記念演奏会プログラムへの広告ご協力をお願い

早いもので12月に入り、第九のメロディが聞かれる季節となりました。皆様も第九の練習や仕事など、忙しい日々をお過ごしのことと思います。

さて、2012年は鎌倉交響楽団の『50周年』という記念の年を迎えます。ファミリーコンサート、第99回定期演奏会、第100回定期演奏会の計3回を「記念演奏会」と位置づけています。

記念事業委員会は、すでに皆様のご協力で、新しいロゴマークを制定しましたが、今回は、記念演奏会の第1回となる3月3日のファミリーコンサートプログラムに掲載いただく広告のご協力依頼についてのお願いです。

今回のファミリーコンサートは従来のプログラムよりページ数を増やし、過去のニューイヤークンサートや、ファミリーコンサートの記録など充実した内容になります。それに伴い広告ページを増やすことにしました。皆様のお勤め先や関係先で広告掲載のご協力をいただける先をご紹介ください。

また、ファミリーコンサート以降の2回の定期演奏会広告も、連続して掲載いただけると嬉しいです。広告をいただくのは大変厳しい時とは思いますが、皆様一人ひとりのお力で、『50周年』を応援し、盛り上げていただけたら幸いです。

掲載していただける見込みのある方や情報をご存知の方は、記念事業委員までお知らせください。『広告依頼文書』など説明をさせていただきます。

参考に、以下に広告料を掲載しますので、あわせてご覧ください。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

【参考】プログラム掲載広告のサイズと価格

- ・ B5版 1ページ 5万円
- ・ B5版 1/2ページ 2万円

・B5版 1/4 ページ 1万円（第98回定期演奏会のプログラムでは、豊島屋・横浜銀行など）

・B5版 1/12 ページ 5千円（同 定期演奏会のプログラムでは、花のれんなど）
以上

助成金申請書 水上さん Vla が作成し神奈川県より 20 万円交付される

(様式5)

平成24年度 文化芸術活動団体 事業補助金等交付申請書

平成 24年 8月 20日

神奈川県知事 殿

平成24年度に実施する次の事業について補助金（賛助金）の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

フリガナ 申請団体名	カマクラコウキョウガクダン 鎌倉交響楽団			
団体所在地	〒248-0012 鎌倉市御成町 14-32 田中方			
代表者	役職	団長	フリガナ 氏名	ヤマモト ケンジ 山本 賢二 
事務局所在地	住所	〒248-0012 鎌倉市御成町 14-32 田中方		
	電話番号	0467-25-3512		
連絡担当者	フリガナ 氏名	ミズカミ キヨシ 水上 清		
	住所	〒240-0115 三浦郡葉山町上山口 422		
	電話番号	046-878-6927		
	E-mail アドレス	klicht@jcom.home.ne.jp		
フリガナ 事業名	カマクラコウキョウガクダン テイキエンソウカイ ソウリツ シュウネンキネン 鎌倉交響楽団 第100回 定期演奏会 (創立50周年記念)			
交付申請額	200,000 円			

補助金等振込先 (郵便局を除く)	住所 (団体所在地と異なる場合のみ記入) 〒			
	銀行名	三菱東京 UFJ 銀行	支店名	鎌倉支店
	預金種別	普通		
	口座番号	4 3 2 9 3 9 0		
	フリガナ 口座名義人	カマクラコウキョウガクダン 鎌倉交響楽団 ダイヒョウシヤ 代表者 田中幸一 タナカコウイチ		

- 添付書類
- 1 事業計画書 (様式 2)
 - 2 収支予算書 (様式 3) ……「収入の部」に「交付申請額」を計上し、他の助成金等で確定した額を反映させた内容で再度作成し、添付してください。
 - 3 団体調書 (様式 4)
 - 4 定款、寄附行為又はこれに類する規約等
 - 5 団体役員名簿

(上記 1、3～5のうち、要望書に添付した書類を使用する場合は、□に√を入れてください。)

(様式6)

平成24年度 文化芸術活動団体事業 補助金等変更(中止、廃止)承認申請書

平成 24年 9月

25日

神奈川県知事 殿

平成24年度文化芸術活動団体事業補助金(賛助金)の交付を受けた次の事業について、下記のとおり変更(中止、廃止)したいので承認を受けたく、関係書類を添えて申請します。

フリガナ 申請団体名	カマクラコウキョウガクダン 鎌倉交響楽団			
団体所在地	〒248-0012 鎌倉市御成町 14-32 田中方			
代表者	役職	団長	フリガナ 氏名	ヤマモト ケンジ 山本 賢二 
事務局所在地	住所	〒248-0012 鎌倉市御成町 14-32 田中方		
	電話番号	0467-25-3512		
連絡担当者	フリガナ 氏名	ミズカミ キヨシ 水 上 清		
	住所	〒240-0115 三浦郡葉山町上山口 422		
	電話番号	046-878-6927		
	E-mailアドレス	klicht@jcom.home.ne.jp		
フリガナ 事業名	カマクラコウキョウガクダン テイキエンソウカイ ソウリツ シュウネンキネン 鎌倉交響楽団 第100回 定期演奏会 (創立50周年記念)			

変更（中止、廃止） の内容	収支予算書の変更
変更（中止、廃止） の理由	収支予算の補正(予算額追加変更)

添付書類 1 収支予算書（補正予算）（様式7） [変更の場合]

(様式7)

収 支 予 算 書 (補正予算)

収 入 の 部
単位：円

項 目	当初予算額 (A)	補正後予算額 (B)	差 異 (A) - (B)	説 明
県助成金	200,000	200,000	0	
入場料	1,100,000	1,100,000	0	
広告料	90,000	90,000	0	
祝儀	0	0	0	
自己負担金	1,398,000	2,168,000	▲770,000	団員会費、団の積立金より支出
計	2,788,000	3,558,000	▲770,000	

支 出 の 部
単位：円

項 目	当初予算額 (A)	補正後予算額 (B)	差 異 (A) - (B)	説 明
-----	--------------	---------------	------------------	-----

会場使用料	220,000	380,000	▲160,000	練習時会場付帯設備増加費用のため (160,000)
出演費	730,000	780,000	▲50,000	バンド指揮者依頼(50,000)
謝金	964,000	1,014,000	▲50,000	合唱ピアニスト追加費用(5回分) (50,000)
交通費	50,000	50,000	0	
音楽費	250,000	700,000	▲450,000	楽器賃料増額(450,000) ・オルガン：ホール備品→外部レンタルに変更 (6,000→300,000) ・打楽器等レンタル追加 (150,000)
印刷・通信費	324,000	384,000	▲60,000	プログラム印刷代単価増 @60→@90 (+60,000)
記録費	50,000	50,000	0	
補助対象経費計 a	2,588,000	3,358,000	▲770,000	
補助対象外経費 b	200,000	200,000	0	
計 (a + b)	2,788,000	3,558,000	▲770,000	

招待者への案内状と名札

中村さん Vla 作成



初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

鎌倉交響楽団は1963年創立以来、おかげさまで本年創立50周年を迎えます。

つきましては、下記の通り記念演奏会を開催するとともに、これまで鎌響を支えてくださいました方々を交えて小宴を持ちたいと存じます。

御多忙中とは存じますが、是非ご参会賜りたく、ご案内申し上げます。

記

1. 50周年記念演奏会(第100回定期演奏会)

日時：2012年10月27日(土) 14時より

(同封のチラシをご参照ください)

2. 50周年記念パーティー

日時：2012年10月27日(土) 17時30分より

場所：鎌倉芸術館 集会室(3階)

☆演奏会来場者数把握のため、大変恐縮ですが、パーティーへのご出欠とともに、演奏会へのご出欠も同封の返信ハガキにて10月10日(水)までにご返信ください。

☆チケットは当日預かりチケット受付にてお渡しいたします。恐れ入りますが本状封筒を受付でご提示ください。

☆パーティーご来場時に本状封筒を受付にご提出ください。

2012年9月吉日

鎌倉交響楽団

団長 山本 賢二

名札見本

ご来賓（鎌倉市花のリンドウ）

鎌倉市文化人権推進課長



青山

陽子



裏面↓



本日は、
お忙しところを
ありがとうございます。

今後とも
鎌倉交響楽団の
応援を よろしく
お願いいたします。

2012年 10月27日

団員一同



OB関係（コスモス）

OB



鎌倉

響男



出演者（担当楽器）

バイオリン

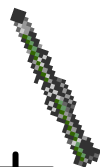


鎌響

弦美



クラリネット



鎌響

管太



メディアへの案内

2012.2.15

鎌倉交響楽団 50 周年についてのお知らせとお願い

拝啓 日頃大変お世話になっております。

私ども鎌倉交響楽団 Kamakura Symphony Orchestra (略称； 鎌響、KS0) は 2012 年に創立 50 周年 (略称； KS050) を迎え、記念の年として年間を通じて記念行事を行っております。下記のように記念の 3 回のコンサートを催しますが、さしあたり、3 月 3 日土曜日にオープニングのガラコンサートを行いますので、よろしくお願ひ申しあげます。

鎌倉交響楽団

50 周年記念事業委員会

団長

委員長

副委員長

山本賢二

菅井直介

水上清

連絡先 〒247-0074 鎌倉市城廻 423-16 菅井直介

Tel&Fax 0467-46-6995

Email: nsugai-tky@umin.ac.jp

【記念コンサート】

第10回ファミリーコンサート「鎌響50周年オープニングガラコンサート」

2012年3月3日(土) 午後 鎌倉芸術館大ホール

指揮 角 岳史

曲目

エルガー「威風堂々」第一番

ショパン ピアノ協奏曲第一番

ソリスト 榎 和馬（鎌倉市在住 中学2年生 神奈川音楽コンクール入賞者）

ハチャトゥリアン 組曲 「仮面舞踏会」

第99回定期演奏会

2012年6月9日(土) 鎌倉芸術館大ホール

～ 「鎌響からの名曲プレゼント」

指揮 山上 純司

曲目：ワーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 前奏曲

チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番

ピアノ：菊地裕介（第46回マリア・カナルス国際コンクール優勝者）

ドヴォルジャーク 交響曲第9番「新世界より」

第100回定期演奏会 2012年10月27日(土) 鎌倉芸術館大ホール

指揮 横島勝人

曲目 ベートーベン レオノーレ序曲第三番

マーラー 交響曲第2番「復活」

鎌響 市民オケ 親しまれ50年

2012年02月28日 朝日新聞 Web より



記念の年の開幕演奏会に向けて練習に熱が入る団員たち＝鎌倉市大船6丁目



槇和馬さん

「鎌響」として鎌倉市民に親しまれている鎌倉交響楽団が創立50周年を迎えた。今年には3回の記念演奏会を開くが、3月3日に鎌倉市大船6丁目の鎌倉芸術館で開幕演奏会をする。

鎌響は1963年に創立された市民オーケストラ。団員は120人を超えており、鎌倉市を中心に横浜、逗子、藤沢などから参加している。創立以来の団員はオーボエの山本賢二団長(70)とコントラバスの大内達郎さん(73)の2人。

サラリーマンが多く、練習は週1回、土曜か日曜だけ。専用の練習場も楽器置き場もないが、ファミリーコンサートや春秋の定期演奏会、鎌倉芸術館主催の「日本語で歌う第九」、夏冬の「鎌響室内楽演奏会」など活発な活動を続ける。

山本団長は「50年、良くやってきたものだと思います。今後も和やかな温かさを持ちながら、より良い音楽を続けていきます」と決意を新たにする。

開幕演奏会はファミリーコンサートとして、明るく元気の出る曲目をそろえる。指揮は角岳史さん。エルガー作曲「威風堂々」第1番、ショパン作曲「ピアノ協奏曲」第1番、ハチャトゥリアン作曲組曲「仮面舞踏会」。会場の希望者に指揮棒を振ってもらう楽しい催しもある。

注目のゲストは、ソリストとして出演する鎌倉市立御成中2年生の槇和馬さん(14)。2009年のショパン国際ピアノコンクールアジア大会で入選した伸び盛りのホープだ。「コンチェルト(協奏曲)は初めてなので楽しんで弾きたいと思います」と話す。

今後は6月9日に第99回定期演奏会「鎌響からの名曲プレゼント」、10月27日に第100回定期演奏会「鎌響50年、そして次の100年に向けて」を鎌倉芸術館で予定する。

3日は午後2時開演。入場料千円、前売りは鎌倉芸術館(0120・1192・40)など。問い合わせは鎌響事務局の田中さん(0467・25・3512)へ。

(山元一郎)

PR 情報

- 「まるで魔法のよう」と釈由美子さんも大絶賛のバカ売れ英語教材
- NEC 10.1型 Windows スレートPCが 7万円台から。期末大感謝セール中！
- チェンジ喘息！あなたの喘息の症状、‘仕方がない’と思いませんか？
- 「おっ！わが家、意外と高いかも？」⇒60秒カンタン入力【不動産無料査定】

マイタウン神奈川